



さとう ひろゆき 佐藤 広幸 議員

町に再生可能エネルギーの導入を

様々な角度から検討したい



風力発電、舟形町にも導入できないか

質問 世界的にエネルギー価格の高騰が進んでいます。この様な情勢の中、町でも風力、太陽光、中小水力、バイオマス、地熱発電等、再生可能エネルギーの導入を積極的に進める政策を取るべきと考えます。

大蔵村では、銅山川にある砂防ダムに穴をあけて水を通して発電機を回し

売電する事業が令和3年から始まっています、加藤村長の「この事業を通して村内の電気代を無料にしたい」と話す姿に感銘をうけました。

この様に、自分の自治体に合った形で再生可能エネルギーの導入が進んでいます。

今後の町の再生可能エネルギーの導入についての考えを質問します。

近年、地球温暖化の影響と考えられる異常気象やこれに伴う災害が頻発し、地球温暖化対策は待ったなしの状況にあります。再生可能エネルギーの重要性は増すばかりです。

気象条件や立地条件等、それぞれの地域における利用可能なエネルギーの状況等に応じ、太陽光、風力、木質バイオマス、地中熱等を最大限に活用していく必要があります。

山形県では、県内における再生可能エネルギーの有効活用を図るため、風力発電、太陽光発電、小水力発電の活用可能性調査を行っています。残念ながら当町では、該当なしという結果となっております。木質バイオマス、地熱発電等についても取り組みが難しい状況にあります。

現在、町の公共施設には、再生可能エネルギー導入促進基金を活用した太陽光発電設備が3か所、特別豪雪地帯先導的

導入推進事業などを活用した地中熱活用施設が4か所ありますが、町としては、個人住宅などに好まれる舟形町再生可能エネルギー設備等導入設置費補助金を活用した木質バイオマスや太陽光発電の設置をすすめるながら、今

後も、舟形町の特性に応じた再生可能エネルギーの導入について様々な角度から検討してまいります。



升玉水力発電所、村では電気代を無料にできないかとがんばる



県のモデル事業として実施しているオンライン診療(真室川町)

質問 町では、『在宅医療と介護連携マップ』を作成していますが、過去の医療機関では介護にかかわらず訪問診療や往診をされていたとお聞きします。今後は高齢化率も上がり、一人暮らしの高齢者も増えて、感染症のリスクも鑑みると、訪問診療

や往診の充実も一つの選択肢かと思いますが、最先端技術も視野に入れた今後の理想とする町の医療体制について意見を伺います。

町長 平成30年12月下旬から現在の舟形クリニックが開業するまでの約3か月、町は無医町状態となり、医療体制の維持の難しさを実感いたしました。

高齢化率の上昇、高齢者世帯の増加等により医療ニーズも多様化し、訪問診療や往診により十分な医療を受けることのできる環境は理想と考えますが、町の最大の不安は町内において医療の提供ができなくなることで、まずはこの不安が解消さ

質問 町の公共施設の駐車場には街路灯を設置し

必要に応じて 防犯灯を設置 街路灯の必要性は 駐車場に適した

ている場所と設置していない場所があるが、タイマー式でも良いので設置できないのか伺います。

改めて未設置場所の駐車場を確認したところ、人の顔を判別することが難しい程の状況です。夜間の会議や行事などで

中央公民館を利用されている方も多いため、隣家の方の迷惑にならないよう、関係者とも協議しながら、防犯灯の設置を検討します。また、他の公共施設についても設置状況を点検し、必要に応じて設置の検討をまいります。



防犯灯が設置されていない公有駐車場



かなうち まさき 叶内 昌樹 議員

在宅医療の体制は万全か

現状の医療体制を維持

れた中で、町内医療機関と連携した、予防・治療・在宅支援の取り組みにながっていくと思います。

新庄市内の病院では舟形町への訪問診療や往診を行っているところもあるようですので、必要の方は「かかりつけ医」として利用することも可能です。

まずは現状の医療体制の維持を最優先とした上で、更なるサービスの充実を努めてまいりたいと考えております。